

復興の進捗状況

【気仙沼・本吉地域版】

平成30年4月1日

宮城県

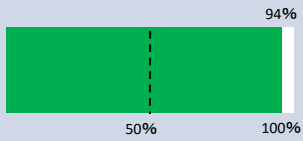
この『復興の進捗状況』は、宮城県が取り組む気仙沼・本吉地域の復旧・復興事業について、その進捗状況等を表したものです。

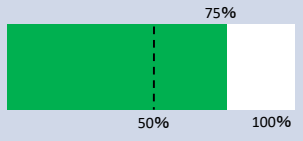
インフラ施設などの項目については、事業の進捗に応じて、事業の着手段階における進捗と事業完了段階における進捗の両方を記載しています。「着手」は、工事請負契約を締結したものを示し、「完成」は工事が完了したものを示しています。

公共土木施設災害復旧事業・インフラ関連

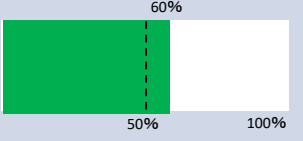
項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
河川施設 (復旧工事) 被災箇所数: 21か所		着手 100% 着手箇所数: 21か所 (H30/3末現在) 完成 約19% 完成箇所数: 4か所 (H30/3末現在)
海岸保全施設 (復旧工事) 被災箇所数: 32か所		着手 約97% 着手箇所数: 31か所 (H30/3末現在) 完成 約41% 完成箇所数: 13か所 (H30/3末現在)
港湾施設 (復旧工事) 被災箇所数: 11か所		着手 100% 着手箇所数: 11か所 (H30/3末現在) 完成 約36% 完成箇所数: 4か所 (H30/3末現在)
道路・橋梁施設 (復旧工事) 被災箇所数: 道路 111か所 橋梁 12か所		着手 約98% 着手箇所数: 121か所 (H30/3末現在) 完成 約82% 完成箇所数: 101か所 (H30/3末現在)

経済・商工関連

項目	(営業・稼働事業者数) ／(被災事業者数等)	復旧状況
被災商工業者の 営業状況		約94%
商工会議所・商工 会の被災会員数: 1,331会員(H23/3) うち廃業除く:935会員		営業継続会員数: 879会員 うち仮復旧中:199会員 (約21%) (H29/3末現在)

項目	進捗率 (完了事業者数) ／(交付決定事業者数)	復旧状況
中小企業等 グループ補助金に よる支援状況		約75%
交付決定1,014事業者 (H29/3/31) ※当初交付決定-廃止		完了 756事業者 (H29/3/31)

観光関連

項目	(現在値) ／(震災前値)	回復状況
観光客入込数		約60%
H22年 362万人		H28年 216万人 (H28年観光統計概要)

雇用関連

公共職業安定所の有効求人倍率(原数値)

	県全体	気仙沼
H23年4月	0.39	0.19
H30年1月	1.81	1.84

雇用情勢(H29年11月)【資料出典:ハローワーク気仙沼】

有効求職者数※ 1, 118人
 【震災直前(H23.2): 1, 778人】
 【ピーク時(H23.6): 6, 325人】
 ※有効求職者:震災による失業者、震災以外の理由による失業者、震災前からの失業者等

宮城県事業復興型雇用創出助成金による雇用創出の取組

期間の定めのない雇用等を行った民間事業主等への支援
 実績:804社, 2,767人(延べ数・申請ベース)(H29年2月末)

農業関連

項目	(着手・完成面積等) ／(復旧対象面積等)	進捗率
農地 (除塩含む) 復旧対象面積: 約 1,130ha ※年度別復旧計画 H23 120ha H26 115ha H24 555ha H27 10ha H25 310ha H28～ 20ha		着手 約99% 着手面積: 約1,122ha(H30/2末)
農地海岸 対象箇所数: 19箇所		着手 100% 着手箇所数: 19か所 (H30/3末)
		完成 100% 完成箇所数: 19か所(H30/3末)
項目	(復旧面積) ／(復旧対象面積)	復旧率
園芸 (園芸用ガラス室・ ハウス復旧面積) 被害面積11.3haのうち 復旧対象面積:約7.5ha (H23/3/11)		100% 復旧面積:7.5ha (H30/3末現在)

林業関連

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
治山施設 (山地・海岸) 被災箇所数:9か所		着手 100% 着手箇所数: 9か所 (H30/3末)
		完成 約56% 完成箇所数: 5か所(H30/3末)
林道施設 被災箇所数:9か所		着手 100% 着手箇所数: 9か所 (H30/3末)
		完成 100% 完成箇所数: 9か所(H30/3末)
項目	(被災後製品出荷額) ／(被災前製品出荷額)	復旧状況
木材加工工場 の製品出荷額 H22製品出荷額: 約3億円 (主要工場3社) ※震災で生産停止		約243% H28製品出荷額: 約7.3億円
	地域内主要工場 製材工場 : 3社	主要工場3社について、 全て復旧が完了し、操 業中

水産業関連

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
漁港 (復旧工事) 被災箇所数: 558か所 ※被災漁港数60港の内、 60漁港に着手。 ※ 箇所数は県管理漁港と市町管理漁港の合計値		着手 約92% 着手箇所数: 514か所(H30/3末現在) 完成 約78% 完成箇所数: 435か所(H30/3末現在)
項目	(被災後数値) ／(被災前数値)	復旧状況
漁船 震災前の稼働漁船 隻数: 約3,600隻 (H23/3/11)		約100% 稼働隻数: 3,777隻 (H30/3末)
主要魚市場の 水揚状況 H22の水揚金額: 約240億円 (約11万ト) (H22/1～H22/12)		約88% H29の水揚金額: 約211億円 (約8.0万ト) (H29/1～H29/12) 主要魚市場 気仙沼、南三陸

復興に向けた管内の動き

登米沢地区の堤防復旧が完了!! (高所法面掘削機を使用)

登米沢地区(気仙沼市本吉町)における堤防復旧が、今年3月、完成しました。これにより、**当管内19海岸全ての農地海岸災害復旧工事が完了**となりました。

同地区は、堤防背後が断崖状の地形で、通常の掘削機械では届かない現場状況であったため、「**高所法面掘削機**」を使用しました。法面(のりめん)が急傾斜な上に東日本大震災により崩壊して危険な状況であったことから、無人の「高所法面掘削機」を崖上に配置した重機2台をアンカーとして利用しワイヤーロープで吊して遠隔操作で掘削しました。

本工法を採用したことにより、堤防嵩上げ工事を短期間かつ経済的なうえに、十分な安全性を確保しながら進めることが出来ました。

(気仙沼地方振興事務所農業農村整備部)



高所法面掘削機による切土施工



着工前

完成後

GAP・ドローン活用研修会を開催！

東日本大震災から丸7年が経過し、これまでの震災復旧の取組に加え、新たな視点で農業生産を展開するため、平成30年3月19日、気仙沼市本吉公民館において、「GAP・ドローン活用研修会」を開催しました。

GAP（農業生産工程管理）については、株式会社アースコーポレーション 代表取締役 菊地利正氏から「産地で取り組むGAPの導入について」と題して、GAP導入の必要性を丁寧に講演いただき、理解を深めることができました。

また、様々な分野での活用が目目されている無人航空機ドローンについては、東光鉄工株式会社 シニアマネージャー 鳥瀧與明氏から「農業ドローン、最前線」と題して、農業分野でのドローンの活用の現状や将来の可能性を紹介いただき、高齢化や担い手不足の課題解決の一つの方法として提案いただきました。

出席者からはGAPやドローンに対する関心の高さが伺われ、営農再開の取組がさらに前進することを期待します。

(気仙沼地方振興事務所農業振興部)



菊地社長の分かりやすい説明に聞き入る参加者



ドローンの実物を前に熱心に質問する参加者

コミュニティ再生活動を支援しています

仮設住宅から災害公営住宅・防災集団移転団地などへの移転に伴い、新たな団地ができたり、地元自治会が公営住宅の住民を受け入れるケースが出てきています。

県では、こうした新しい地域コミュニティづくりを支援するため、自治組織等が自発的・主体的に取り組む地域コミュニティ再生活動のための経費の一部を補助しています（平成29年度は既に終了）。併せて、気仙沼地方振興事務所に専属のコミュニティ支援員を1名配置し、制度の周知や補助金申請の相談などに対応しています。

平成29年度は、気仙沼市・南三陸町の自治会等から30件の申請が採択されました。これらの団体では、夏祭り、運動会、避難訓練、新年会などの開催費用に補助金を活用し、住民主体のコミュニティ再生につなげています。

(気仙沼地方振興事務所地方振興部)



【コミュニティ再生活動(気仙沼市 市営鹿折南住宅地区)】

発行：宮城県気仙沼地方振興事務所地方振興部

電話：0226-24-2593 E-mail:kstssss@pref.miyagi.lg.jp

ホームページ：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-e/

